

平成31年度事業計画

日本の総人口に占める65才以上の割合は、27.7%（平成29年総務省「人口推計」）で、ほぼ3人に1人が65才以上となっています。また、平均寿命は、平成29年現在、男性81.09才、女性87.26才で約50年後には、女性は90才を超えると推計されています。

このような中、政府は公務員の定年を65才とする具体的な制度設計を示し、民間企業にも定年そのものを延長することの普及を促すこととしています。さらに「人生100年時代構想会議」を開催し、人生100年時代を見据えた経済社会システムの検討を進めてきました。

当センターの会員平均年齢を見てみると、平成18年は69.8才で、翌平成19年に70才を超えその後毎年高くなり、平成29年には73.3才となり、飛躍的に高くなっていることがわかります。さらにこのまま推移すると平成35年には会員の平均年齢は75才を超える見込みとなります。今後、就業機会の確保や開拓とともに、安全対策やフレイル予防等新たな環境整備についても検討を始めなければなりません。

一方、埼玉県において、平成31年度中に派遣事業のうち、一部業種の働き方の中で、就業時間の要件緩和を進める予定となっています。この事業の趣旨や内容の周知に努めるとともに、緩和された要件の範囲で仕事をしたいという会員には適用できるよう努めていきます。

合併して4年目を迎えますが、新たなシルバーフェスティバルについてはセンターのPR及び地域貢献事業として、継続していきます。

そして、地域班組織について有効な再編等検討を重ねてきました。会員同士のつながりを大切にするために、工夫を凝らした懇親会や班独自のボランティア活動をしている班もあります。しかし、懇親会を開催しても会員が集まらない、役員のなり手がなくて地域班が機能していない等の悩みを抱えている現状もあります。そこで、やる気のある会員を大切にしながら、地域班制度に変えてサポーター制度をスタートさせる予定です。新たな制度として定着するまで皆様のご理解ご協力のもと進めていきます。

1 事故0を目指して、安全就業対策を進めます

- ① 仕事別グループによる就業現場の安全管理の推進
- ② 安全委員会による就業現場の巡回による安全確認の実施
- ③ 安全就業義務違反の取扱いについて周知し実施
- ④ 安全担当者による作業道具、機材の使用方法点検管理の推進
- ⑤ 各種講習会の開催

2 シルバー人材センターらしい仕事を目指して、適正就業を推進します

- ① 仕事別グループの設置促進、育成
- ② 仕事別グループ運営の指針による運営の自己チェックの推進
- ③ 就業交替制度の新たな対象業種の検討
- ④ 就業に係る契約内容の確認、適正化への改正
- ⑤ 各種講習会の開催

3 あらゆる機会を通じて、就業機会を確保します

- ① 定期的に営業会議を開催し、効果的な営業活動の展開
- ② 公共機関等から新たな仕事の獲得
- ③ 家事援助事業の積極的な展開
- ④ 一般労働者派遣事業及び有料職業紹介事業の実施

4 強固な組織づくりを進めます

- ① 会員サポーター制度の周知及び推進
- ② あらゆる機会を通じて会員増加への取り組みの推進
- ③ 入会説明会の内容充実を図る
- ④ 未就業会員の状況把握と就業促進
- ⑤ 財政基盤の確立

5 会員の融和を進めます

- ① 各種イベントの開催
- ② サークル活動の支援
- ③ ボランティア活動の推進

6 積極的なPR活動を推進します

- ① 各種行事への参加
- ② センターのPRチラシ等の作成、活用
- ③ 市町広報紙の活用
- ④ 会員への事業運営状況の周知
- ⑤ センター広報紙の発行